

# 「メイドイン品川」ブランド認定 他社には真似のできない 高精度多機能印刷技術

新栄スクリーン



「メイドイン品川」の認定を受けた可変表示器

理された印刷物とLED光源との調和を得意としている。

中でも、屋外可変表示器は、企業が開発・実現化した優れた製品・技術を品川区が認定する「メイドイン品川」に認定された傑出した製品。皆さんも普段目にする全国のJ

Rや私鉄の自動改札機の中核部品として採用されている。

正宏社長、03・3493・6201は、39年間培ってきたスクリーン印刷技術にLEDを光源とするモジュールの開発、設計とを組み合わせ、色調、明るさ等、他社には真似できない独自の技術を持ち合わせている。

同社の特長ある部品・技術は、次の3点だ。

①LEDバックライト：オリジナルのインキを開発し、導光板のムラを最小にし、輝度を上げることが可能である。

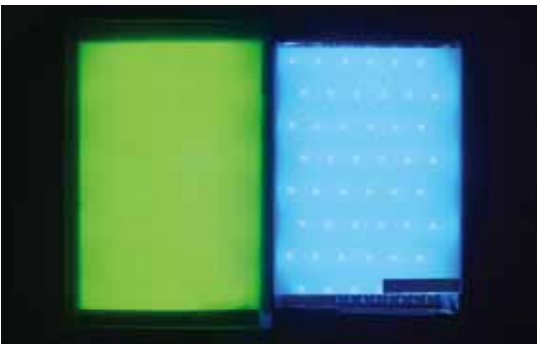
②可変表示器(特許取得)：同じ部分に2色のLED光源を設置することで、1枚のシートをかぶせるだけで2種類の表示が可能となり、省スペース、コスト削減に効果的。また、立体加工もできるので、立体表示やプレフォーミングにも使用できる。自動改札機や自動販売機等に実際に採用されている。

③スーパー拡散シート：オリジナルのインキを開発し、LEDとの距離が10ミリ程度でもムラ、玉見えがなく、明るく均一に光らせることを可能とし、輝度・色度の管

鈴木社長は、「お客様の様々なご要望にお応えするために、他社が真似できなかったり、管理が非常に難しい製品など、積極的にチャレンジし、アイデアの詰まったディスプレイ・表示器の設計開発や、導光板、拡散板、偏光板といった多種多様な多機能印刷について、試作から量産まで精一杯お手伝いします」と語る。

詳しくはホームページにて

(<http://www.shinescreen.com/>)



同社の「スーパー拡散シート」(左側)は、従来のもの(右側)と比べてムラ、玉見えがない。